

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

私たちは、地域の人々のために開かれた施設として、適正な医学・看護・介護の許で、自立支援、通過機能、QOL向上のため包括医療サービスを厳しい科学性とやさしい心をもって努め、地域社会貢献を行う。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	医療施設運営上で出る廃棄物について適切な管理、処理に取り組み地域に悪影響が及ばないようにする。	・食材管理による生ごみの削減 2026年まで毎月100Kg削減
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	認知症疾患医療センターで、地域の方々へ早期診断・専門治療を行い、医療・介護事業所へ支援を行う。	・医療・介護事業所への支援 2026年まで3名/月を維持
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	すべての男女の完全かつ生産的な雇用及び働き甲斐のある仕事、同一労働、同一賃金を達成する。	非常勤勤務から常勤勤務への採用 2026年まで1名以上を維持

<パートナーシップ>

同法人関係機関の経験や戦略を基にし、地方行政と連携を図り効果的に町づくり、地域連携に努める。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	医療施設運営上で出る廃棄物について適切な管理、処理に取り組み地域に悪影響が及ばないようにする。 →入院患者様が高齢者が多く、食べ残しが多かった。また、生ごみの水分が残っている状況だった。	食材管理により生ごみを毎月100kg減少させる。	50kg以上減少させ、肥料になる生ごみは畑に利用した。
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	認知症疾患医療センターで、地域の方々へ早期診断・専門治療を行い、医療・介護事業所へ支援を行う。	地域の方々より月3名、支援を行う。	月3名以上支援を行った。
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	すべての男女の完全かつ生産的な雇用及び働き甲斐のある仕事、同一労働、同一賃金を達成する。	非常勤勤務から希望者は常勤採用を行う。	5名以上の非常勤職員が希望し常勤採用となった。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。